



政治との対話の模索

- 世界エンジニアリングデー記念シンポジウム -

2021年3月4日

(公社) 日本工学アカデミー
政策共創推進委員会 委員長

永野 博

EAJ 報告書 2020-01

一般財団法人 新技術振興渡辺記念会
平成 31 年度(2019 年度)上期科学技術調査研究助成

「立法府とアカデミアの知的情報共有
に関する調査・試行研究」
成果報告書

国会議員と科学者の
政策共創実現に向けた提言



令和 2 年 (2020 年) 8 月

公益社団法人日本工学アカデミー
立法府とアカデミアの知的情報共有に関する
調査・試行研究プロジェクト
(リダー：永野博)

7582-816-7
rials 2017-7

科学技術に関する調査プロジェクト2017報告書

調査

科学技術に関する調査プロジェクト2017報告書

政策決定と 科学リテラシー

2018年3月

政策決定と科学リテラシー

国立国会図書館



国立国会図書館
調査及び立法考査局

性(A)
用の紙へ
ます。



調査・試行研究の目的

- ・民主主義国家では科学技術と社会の関係にかかわる知見を**国会議員が(個別の専門家だけからではなく)中立的でしっかりした組織と交流しつつ入手するシステム**が存在し、得られた選択肢を政策立案過程で活用している。わが国でも中長期的にこのようなシステムを作っていく必要があるのではないか。
- ・そのために**アカデミア側(例えば、工学については日本工学アカデミー)**に求めることは何か。



報告書におけるまとめ

1 科学情報の共有

- ・アカデミアには平時からの情報提供の準備がない。
- ・議員も科学技術の動向について日頃から自由に意見交換する場がない。

2 複数の政策選択肢の議論

- ・複数の選択肢をアカデミアが出すシステムがない。議会も求めている。

3 政策リテラシー

- ・今の政治・政策、国民が何を求め、何が政策として成立するかを語れる科学技術側の人材が極めて少ない。

4 議員の側での受け止め方

- ・組織的な意見交換の場のないことが深刻な状況とは実感しにくい。
- ・行政府と情報の非対称性のあることは認識。
- ・ペアリングプログラム、議会へのフェローシップの存在は知られていない。

◎ 政策共創推進委員会の活動の進め方（抄）

1. 当面の目標と活動の進め方

日本工学アカデミー（EAJ）が主宰し、関連団体（非行政組織）と連携してアカデミア（まずは、工学）の考え方や意見を立法府・国会議員に届けるとともに意見交換を行うことのできる道筋を開くことを目指す。――（略）―― 当面、以下の活動を行うこととする。

2. 当面行う活動

- ① 国会議員との意見交換の機会を設ける。
- ② 参議院調査部門との協力
- ③ 国立国会図書館との協力
- ④ 若手研究者（博士課程の者を含む）による議員インタビューを早い時期に実現する。
立法府関係部署に一定期間派遣するフェローシップの実現方法を検討する。
- ⑤ 関連団体との連携可能性の模索：公益社団法人日本工学会と連携する。

第1回 政治家と科学者の対話の会

テーマ：新型コロナウイルス後の科学技術イノベーションの在り方



- 出席議員：伊佐進一議員、大野敬太郎議員、新妻秀規議員(参)
小林鷹之議員、小林史明議員、大串正樹議員
- 話題提供：原山優子副会長、森本浩一常務理事
- モデレーター：永野博 日本工学アカデミー顧問
- 日程：2020年12月9日(水)午前10時～11時
- 場所：衆議院第一議員会館国際会議室
- 主催：日本工学アカデミー ・参加者：52名

対話の会での議員発言要旨

I 伊佐議員(対話の焦点となるべき課題は三つ):開会挨拶

- ① リスクコミュニケーションの改善(見えないことなどに対する恐れへの適切な対応)
- ② 透明性(科学の知識が政治に繋がっていると国民に見えるようにする)
- ③ 倫理(生命倫理などでのコンセンサスを形成していくため)

II 大野議員:閉会挨拶

- ① リスクコミュニケーションは双方向で対話し、問題点の改善しながら、それを共有する。
- ② 科学者からの提言も社会実装可能なものであれば、政治家による実現に結びつく。
「前提」の共有のない「一方的な」意見では意味がない。
- ③ この会は続けるべき。政治家と科学者が前提を共有しつつ、正統性と正当性をお互いに獲得できるようにしていきたい。

III 小林史明議員 (政策実現の扉は三つ):対話の部終了挨拶

- ① 国民共通のアジェンダを作る、
- ② 具体的解決策の提言、
- ③ 適切な政治家に意思決定を促す
是非皆さんと共同作業で政策実現の成功体験を得たい。

今後について

1. 第2回 政治家と科学者の対話の会 3月18日
「日本の将来を担う若手研究者との共創」
2. 第3回 対話の会
「当事者研究からの問いかけ」 (企画中) 通常国会終了後
3. 第2回 参議院調査部門との共催ワークショップ 同
4. 若手研究者による国会議員への訪問インタビューの企画
5. プラットフォームの構築